

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
堺区・親と子のふれあい事業「夏のワクワク海験（たいけん）」				堺区ふれあい事業実行委員会			
事業目的		事業効果		活動指標	R1	R4	R5
子どもが家族とふれあいながら、歴史ある堺区の海や港の魅力に触れる機会を提供することを通して、区民の郷土愛の醸成を図る。		○ 区民に歴史ある堺区の海や港の魅力に触れて、親しみを持ってもらう。 ○ 子育て世帯の地域での思い出作りを支援することで、郷土愛を醸成する。 ○ 漁港や水産業の存在を再認識してもらい、地域産業の活性化につなげる。		来場者数(人)	3,000	82	400
					※R2,R3は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	※例年のイベントは中止したが、クルージングのみのイベントを実施した。	
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	歴史ある堺の海や港を活かし、子育て世帯がワクワク海験に参加することで、地域産業の活性化及び郷土愛を醸成できる。	◎	堺区自治連合協議会と堺区役所で構成された堺区ふれあい事業実行委員会が実施主体となり、堺市漁業協同組合連合会が協力する区民との協働事業である。	○	大阪湾クルージングでは、小型船舶で堺の近海を遊覧航行し、海上から堺の港や沿岸を見ることで新たな発見や関心に繋がる。	○	区民との協働・子育て支援・地域産業のPRが一括ででき、一度の開催で複数の効果を実施できる。
⑤自立発展性		総合評価					
—	本事業は、区民が地域資源の価値に誇りを持ち、自治意識の高揚につながるものではあるが、区民同士を有機的に結びつける働きが行政に求められているため、区民独自で行うことは難しい。	○	令和4年度と同規模のイベント「ワクワク海験クルーズ」を令和5年8月19日と令和6年3月16日に実施した。クルージングの体験で、堺の海や港への親しみや関心が高まった参加者が多く見られた。参加対象を概ね小学生以下とその保護者とする事で、堺の海での家族との良い思い出となった。 またクルージングを通じて、漁港の存在を知り、もしくは再認識することで、地域資源や地域産業のPRになった。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	例年はクルージングの他に多数の催しやブースを設けたイベントを8月に実施していたが、事業の目的や費用対効果を検討した結果、今年度はクルージング以外の催しやブースを縮小し、8月と3月に「ワクワク海験クルーズ」を実施した。 アンケート結果から参加者の満足度が高く、今後も堺区民の子どもたちに対して、身近な堺の海を体験してもらい、親しみをもってもらうイベントが必要である。						